

点在するマンホール内部を遠隔観測『マンホール水位監視』

■課題

河川敷に観測用として設置されているマンホール下の井戸の水位を計測するには、既存の計測器では現地に足を運びデータを取得する必要があるため、計測箇所が多いとそれだけ人手と時間が掛かり、更に入手したデータも事務所で再入力が必要なことから大きなコストが発生しています。

■概要・期待効果

井戸内に設置した水位センサのデータを LoRaWAN ネットワークへ定期的送信することで、リモート計測が可能となります。作業労力が無くなるだけでなく、時間帯により水位変動をリアルタイムで把握する事ができます。台風や大雨でも現場に行かずモニタリングできることから、地下水の復元状況の実態把握にも活用できます。

